



# しらうめレター

2020.7

NO.37

## この号の内容

### 理事長の挨拶

3月末から7月にかけての事業所運営を振り返り、「これから」に繋げていきます。

### 各事業所の現在

通所サービスの休止・グループホーム交流室の利用中止、そして再開。コロナ渦における各事業所の現在をお伝えします。

### 新人職員の紹介

4月1日より2名の新人職員が梅の木の家共同作業所に配属されました。さて、その人柄や今の思いは！？



童里夢工房タイヤサンダル製造工具 ©2019 Argyle design ltd.

新型コロナウイルスの

影響により

今回の

「しらうめレター」は

縮小版で

お届けします



©2019 Argyle design ltd.

## 理事長の挨拶

コロナ禍のもと、この3か月近く、不安と戸惑い、そして不如意な思いで日々を過ごされていることと思います。

白梅会では、国や自治体などの要請に従い、コロナウイルスへのさまざまな対応に取り組み、その内容については、職員およびホームページのお知らせ欄などを通して皆さまにいち早くお伝えしてきました。

3月末の時点では、感染拡大を防ぐための具体的な行動（不要不急の外出自粛・イベントの参加は控える）を取りながら、4月7日に「緊急事態宣言」が発令されてからは、全事業所において時間短縮・交流室閉室等のコロナウイルス感染防止策を実施してきました。その後、緊急事態宣言の延期、障がい者施設の集団感染や接触機会の削減要請があり、利用者への皆さまへのヒアリングなどを踏まえ「4月16日～5月31日」までの期間、三事業所の通所サービスを休止し、代替サービスとして、在宅支援（電話での不安や体調の聞き取り、就労訓練の提供等）を実施しました。また、グループホームの交流室を閉室し、居室訪問や電話連絡、必要に応じて個別面談等をおこないました。そして、緊急事態宣言が解除されたことに伴い、6月1日から時間短縮の通所サービスを実施してきました。さらに、東京アラートも解除されたことから、7月1日からは各事業所の活動も概ね通常に戻り、事業所の見学や体験通所も再開することになりました。これからも状況を適切にアセスメントしながら、事業所の運営に取り組んでいく所存です。

改めまして、皆さまのご理解・ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

状況を適切に  
アセスメントし  
事業所の運営に  
取り組む  
今までも  
そして、これからも

## 各事業所の現在

「理事長の挨拶」にも記載があるように、法人始まって以来の通所サービスの休止・交流室の閉室を行ないました。

利用者の方々から意見を聞かせて頂いた際、「いつも通っていた場所がなくなると、生活リズムが崩れるのではないか」、「休止を決めてもらった方が、安心できる」などのいろいろな意見を頂きました。

正解のわからない、手探りでの決断でした。

そして、4月16日から利用者さんの姿や声がない、いつもと違う空気と時間が流れました。

職員は交替制・時短勤務・テレワークで、利用者さんへの在宅支援（電話対応）や感染症対策の検討、事業所運営の改善などを行ないました。

その後6月1日、制限がある中での通所サービス・交流室を再開。

利用者さんの顔、利用者さん同士が話したり、笑い合ったりしてる場面、私たち職員を呼んでくれる声が戻ってきました。

新しい生活様式と、一緒に。

現在、各事業所では検温・消毒・換気を日常に取り入れ、飛散防止パネル越しに話したり、壁に向かって作業をしたり、あの頃とは違う過ごし方をしています。

いろいろなみんなと、一緒に。

詳しい近況は、白梅会のホームページ（<http://shiraumekai.com/>）に掲載しています。是非、各事業所の『現在』をご覧ください。



### ◆施設長変更のお知らせ◆

レスポワール工房：川口洋平 → 水越東子（2月1日付）

グループホームみち：若井俊丈 → 川口洋平（4月1日付）

はじめまして  
よろしく  
お願いいたします

こちらこそ



## 新人職員の紹介

4月1日より、梅の木の家共同作業所に2人の新人職員が配属されました。

### 藤澤 啓史

<プロフィール>

高校卒業後、倉庫作業員を10年、メンテナンス業務を2年経験し、白梅会へ。

人からも言われますが、自分は「お節介焼き」だと思います。人が困っていると放っておけないところがあります。

今までの仕事は「福祉」とは違うものですが、振り返ってみると「人と話すことが好き」、「周りの人や後輩が嫌な気持ちをしないように」という思いを持っていました。「福祉」じゃない自分みたいな者がいても面白いかな、と思っています。

でも、まだまだわからないことも多く、利用者さんや先輩職員さんに助けられ、自分がここにいられる環境を作って頂いて、今はとにかく「感謝」しています。

いつか新しい仕事を受託して、利用者さんに提供したいです。

### 木村 裕貴

<プロフィール>

社会福祉士を取得し、福祉系大学卒業後、白梅会へ。在学中にカフェ店員を3年半経験。

良い部分も悪い部分もあると思いますが、「ひとりで何でもしようとするタイプ」だと思います。

アルバイトでは、自分で作ったドリンク（ラテアート）を提供したときに、お客様がそれをカメラで撮影して喜んでくれたりすると、すごく嬉しかったです。

コロナウイルスの影響もあって、まだ1ヶ月くらいしか利用者さんと関わっていませんが「利用者さんって、本当に優しいなあ」と、しみじみと実感しています。

そんな利用者さんと信頼関係を築いて、「利用者さんに本音を話してもらえるような職員」になりたい、と思っています。